

教材の選定は教員の仕事! 越教組が市教委に要望

越教組ニュース

越教組は、3月10日に「来年度の教育行政への要望書」に基づき市教委と話し合いをしました。これは二〇二三年度の市の教育行政について、組合として要望を出し、市教委のメンバーが代わっても、ここで確認した内容を引き継いでもらうという重要な位置づけがあります。(※は話し合いとは直接関係ありません。)

AIDドリル

押し付けはやめて!

【組合】令和5年度には市内全校でのAIDドリル導入が決まっています。本来教材を選定するのは、直接指導にあたる教員が児童生徒の実態や自分の経験等を勘案し任せられべきものではないでしょうか。

【市教委】児童生徒の理解度に合わせ、個別最適化された課題に取り組むことができることから導入を検討してきました。また、教員が個々に答え合わせをしなくても済むことから教員の負担軽減の観点からも導入を進めたいと考え、令和3年度1学期に小中各一校、2学期に別業者のAIDドリルを検討するために別の小中各一校を追加、試行してきました。さらに全校での試行が必要と考え、令和4年度2学期からは無料での試行、令和5年度は有料での全校試行を行っています。使ってみて効果等を検討し、令和6年度からは、導入の有無を含め各学校の判断に委ねていく予定です。

活用上の問題

【組合】今年度の全校導入をうけ、学校の対応は混乱しています。低学年では、やはり紙ベースのドリルの方が使いやすいという声やAIDドリルと紙ドリルの両方を買えないので、プリントを刷って対応するという声も聞きます。これでは、負担軽減とは逆

になってしまいます。

【組合】児童の使い方を見てみると、適当に答えておいて、出てきた解答を次は入力して先に進むという使い方をしている子がいて、使い方によっては全く学習になっていません。

【組合】効果的に使わせることができるかは、教員のスキルに負う面も大きいと思います。

【市教委】どういう使い方が効果的なのか、いろいろ試して交流して下さい。その上で、来年度以降は導入の有無を検討して下さい。

越谷市教職員組合 ホームページ



越教組定期大会
5月13日(土)
13:30~15:30
越谷市中央市民会館5階

負担軽減はまだまだこれから

【組合】負担軽減は教育委員会だけでなく、市役所の各部署との協力が必要です。例えば、「人権の集い」に関わる人権教育・男女共同参画課には「働き方改革基本方針」が説明されているのですか。

【市教委】まだ説明していません。
【組合】まず「働き方改革基本方針」を渡すことが大事だと思うので、お願いします。
【市教委】貴重なご意見ありがとうございます。検討させていただきます。

朝練の廃止を

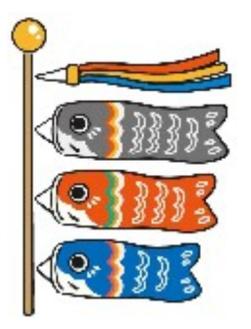
【組合】朝練の廃止等を求めた県教委通知を徹底して下さい。
【市教委】小学校の朝の活動や中学校の朝練について、行わないよう昨年の12月7日付で通知を出しました。部活については原則的には行わない

支援員等の継続を

【組合】学習指導員やスクールサポートスタッフ(SSS)の配置を継続してください。
【市教委】いずれもコロナ対応のための県の補助金や国の臨時交付金を活用したものでした。令和5年度については、補助金等の情報はありませ

期限通りの配置を

【組合】抜本的な改善策を打ち出して下さい。
【市教委】臨探者の希望数が減っていますが、期日通りの配置に務めています。



8・12・1月)や週当たりの日数が5日から4日に減らされましたが、市の財源で配置されています。